

事業所名

共育学舎とむ∞とむ

支援プログラム

作成日

2025年

2月

27日

法人（事業所）理念		障がいがあってもなくても、赤ちゃんからお年寄りまで、生まれ育った住み慣れた地域の中で、楽しく協働・共生出来る居場所作りを目標として活動しています。						
支援方針		主に不登校支援を実施しています。「学校にもどること」だけにフォーカスするのではなく、学校に行っている行っていないに関わらず、安心して過ごし、人と関わりながら自分の本音と向き合い、自己調整し、自己承認が定着していく環境調整をしていきます。一人一人のペースを守り、子どもの自ら育つ力を十分に発揮できるように関わっていきます。札幌市近郊の自然の中の活動拠点もあり、ダイナミックな遊びで自然を満喫し、静的な遊びで自然の美しさや静けさに触れ親しむことも大切にしています。						
営業時間		平日	9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	寝る・食べる・遊ぶを基本に自分の体調の自己調整が出来るように居場所活動の中で生活スキルを学んでいきます。本人の心理状況に合わせた、安心を基本にした生活リズムの確保、心身の健康管理（睡眠、食事、運動）、ストレス緩和を本人と一緒に考えていきます。						
	運動・感覚	楽しい活動を通して無理なく身体を動かしていき、前向きな気持ちを育てていきます。やりたい気持ちやりたくない気持ちを尊重しながら身体を動かす事が生涯において心地よいことという感覚を促していきます。また、ものづくりやアート活動、自然に触れながら微細運動や繊細な感覚を刺激していきます。						
	認知・行動	活動内容は主に子どもたちのミーティングや意志を尊重していきます。意思表示、興味を広げながら活動の準備など物事を構成立て考える、机上ではなく経験していく中で問題解決する力を身につけていきます。信頼関係を構築しながらまずは意思形成から意思表示、意見形成、意見表明、意見実現の過程を本人に寄り添いながら日常生活を積み重ねていきます。本人の意思確認しながら学習支援のサポートもします。						
	言語 コミュニケーション	信頼関係と心理的・物理的に安全な環境を大前提とし子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めこどもを理解するように努め、言語、非言語での意見形成を育み、自由に表現できる関係性と環境を構築し整えていきます。						
	人間関係 社会性	学校復帰だけを目的とせず、安心して過ごせる場所を増やすことが大切です。当事業所だけではなく、地域のコミュニティへの参加、ネットリテラシー学びながらオンラインサロンなど居場所の提案、提供をします。子どもの気持ちを尊重し、安心した環境下で自己表現の向上をめざし、他者との関わりを本人のペースに合わせて広げていきます。						
家族支援		保護者の心理的負担の軽減は不可欠ですので定期的に相談支援を実施します 不登校の背景や特性を理解しながら家庭での関わり方、保護者同士の情報交換が出来る場、臨床心理士に相談する場を提供します			移行支援		生活スキルの習得支援、職業体験プログラム、他社会的自立に必要なプログラムを導入し、進路や進学決定のサポートをしていきます	
地域支援・地域連携		地域の中での居場所（地域子ども食堂）や活動の機会が持てるようにイベントの参加、居場所支援、また、地域の方々に参加していただくイベント開催をしています。 学校、医療機関、福祉機関、必要時には児童相談所と連携します。			職員の質の向上		事業所内外の研修実施、受講。外部の方々に参加できるイベントを実施しながら広い視野を持って子どもと関わる事が出来るようにしています	
主な行事等		みなばの森フェスタ（7月） 雪まつりイベント（2月） 地域子ども食堂（月2回） 中高校生の居場所（週2回程度） 保護者相談会（年3回程度） みなばの森自然遊びの会（年2回） 保育園職業体験 提携医療機関等との合同お祭りに出店						